

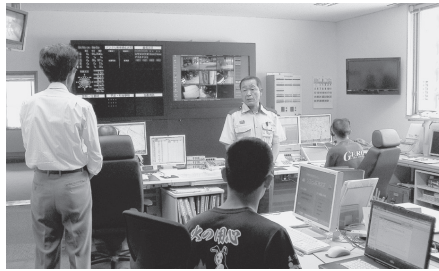
## 委員会視察報告

### 総務教育民生常任委員会管内視察

当委員会は、「市民の安心安全」のインフラ整備を検証する機会として8月9日に管内視察を行いました。

#### 【視察箇所】

- ・下呂市消防本部  
通信司令室 消防救急デジタル無線整備事業
- ・萩原方面隊第3分団第1部（大ケ洞）消防詰所・消防自動車
- ・萩原方面隊第6分団第1部（上村）消防詰所
- ・馬瀬西村 防災情報無線パンザマスト増設
- ・下呂市立小坂診療所
- ・下呂市立小坂老人保健施設
- ・下呂市立金山病院（8月1日開院）
- ・特別養護老人ホームかなやまサニールランド（社会福祉法人下呂福祉会）
- ・南ひだせせらぎ病院（特定医療法人隆源会）
- ・駅舎内改修のJR飛騨萩原駅



### 濃飛横断道・リニア特別委員会管外視察

当委員会では8月24日、リニア中央新幹線へのアクセス道路として郡上・下呂・中津川地域を結び、沿線の観光及び地場産業の振興につながる濃飛横断自動車道の整備促進を図るため、中津川市と郡上市の特別委員会及び所管部局を訪問し、情報・意見交換を行いました。

中津川市では、リニア駅・車両基地が建設されますが、地元が候補地として中央線との乗継等を考慮し、切望している「美乃坂本駅」周辺を見学しました。市では「リニアのまちづくり推進本部」が組織され、市民参加によるビジョン策定に向けた取り組みが始まり、議会特別委員会委員長及び市の担当より、その内容説明を受けました。

郡上市へは、7月24日に開通した濃飛横断道・下呂金山道路の「ささゆりトンネル」を経由することで、20分の時間短縮効果を実感することができました。郡上土木事務所長より郡上市側の濃飛横断自動車道の整備状況について説明を受けました。また仮称和良川橋及び和良トンネルの現場を視察しました。

今回の視察を通し、濃飛横断自動車道をはじめとする3市のアクセス道路の整備のために、両市の議会と情報を共有しながら、連携を図っていくことを確認しました。



### 議会改革特別委員会管外視察

当委員会では、昨年の議会改革特別委員会の報告書で議会報告会及び市民意見交換会の実施が提言され、開かれた議会を目指した議会改革の推進をはかるために、具体的に議会として何をすべきかを検討しています。

そのような中、既に市民意見交換会等を実施し、県下の市議会の中で最も情報公開が進んでいると評価されている高山市議会の取組みについて、8月27日に視察を行いました。

当日は、高山市議会運営委員会の正副委員長より、高山市の議会報告会及び市民意見交換会や議会改革の取組みについて、説明を受けました。

市民意見交換会は3年目を迎え、市内20箇所で、議員6人を1班とした4班編成で市民の声を聞き、市民の負託にこたえる議会として積極的に情報公開し、そこでの意見を基に課題を整理し議員間討論を行ない、合意された事項を政策提言につなげていくことが重要とのことでした。意見交換会では、当初市民の方の議会に対する厳しい意見が多くあったそうですが、試行錯誤しながら、改善に努力されています。

今後、下呂市議会においても今回の視察を活かし、市民意見交換会を実施するなど開かれた議会を目指し、議会改革を進めていきます。



# 一般質問 14人が市政を問う

## キーワードは「健康」と「防災」



10 番  
服部 秀 洋 議員

◆建設部長  
下呂小坂線の幸田～釜ヶ野区間は急峻な地形で雨量規制区間となっており、急なカーブも多く交通量も多いことから事故が心配されます。県ではこの区間は改良済みで今後の計画はないとの事です。

門和佐瀬戸線は、雨量規制区間の火打二ノ樽バイパスの調査測量と東泉寺付近の部分改良の調査に今年度着手となっております。

③観光施策としての公共交通網の整備は

◆観光商工部長

下呂温泉を訪れる皆様を市内観光スポットに周遊してもらえよう、馬瀬の「火ぶり漁見学」や小坂の「厳立峡のライトアップ」などのバスツアーを実施しました。今後、市民と観光客が利用できる周遊バスを運行して、公共交通と連動できればと考えています。

④自主放送を活用した防災力の向上について

◆総務部長

今年度「週間まめなかな」に防災コーナー「防災しつとく」を設け、身近なところから始められる災害に対する備えなどを紹介しています。月1回、第3週に放送し、回数は10回を予定しています。

良質の温泉と豊かな自然に恵まれた下呂市。津波被害の影響が及ばない中山間地に位置する事と、それゆえに育つ新鮮な食物。ヘルスツーリズムと言う言葉が生まれているように、今後の展開として注目すべき「観光と健康」。そのためにもインフラ整備は必至です。街も体も元気な下呂市を目指すために

①特定健診の受診率向上施策は

◆健康医療部長

特定健診の対象は法的には40歳以上ですが、下呂市では若い世代から健康意識の発揚と生活習慣の見直しのため30歳から対象としています。目標の65%には届いていませんが、県下5番目の受診率です。受診率向上のため、下呂温泉病院での受診も可能になりましたし、ケーブルテレビ等でもPRを行っています。

②県道下呂小坂線、門和佐瀬戸線の改良の展望は

## わくわくする活力ある下呂市へ



4 番  
今井 政 嘉 議員

農業振興について

全国的なブランド「飛騨牛」は約半世紀もの時間をかけ育くんできた結果であり、その振興と共に今後、新しい地域ブランドを作り上げる必要がある。そこで農商工連携や6次化に向けた農業振興策は

◆農林部長

市内で6次産業化の計画認定団体は2件あります。6次化には人的及び金銭的に相当な体力が求められ、リスクも伴います。まずは農商工連携による異業種との連携を進めているのが現状です。

暮らしやすい生活環境について

①国保税が決定し、今後負担が増える事への対応はどう考えるのか

◆市民部長

医療費を抑えるために特定健診に力を入れています。またジェネリック薬品の推進について、医師会・薬剤師会のご指導を得ながら検討していきたいと考えています。

②中学生の医療費無料の取組みは

◆市長

財政的には厳しいが、将来を担う子ども達の健康は大切です。今後検討していきます。

①合掌村を中心として、交流会館、朝市など連携した観光戦略をどう考えていくのか。

◆観光商工部長

イベント開催により、しらすぎ橋付近に滞留する観光客を広く分散させたり、臨時案内所を設置し、街歩きや朝市、交流会館のイベント情報の提供を行い各スポットへの誘導を行いました。秋にも同様のイベントを行う予定です。

②行政と商工会・観光協会等各種団体、住民の方々と、共同し協議を重ね今後のまちづくりの元となる「中心市街地活性化」等を利用して総合的なまちづくりをする

◆経営管理部長

今年度、地域の課題に取り組みまちづくりのためのワークショップを各地域で開催します。こうした取り組みで、まちづくりへの機運を高め、観光戦略や活性化を含めたまちづくりを進めます。